

## 令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

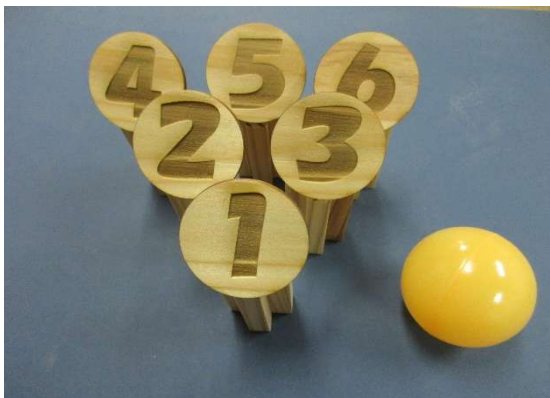
P T A名	静岡県立浜松特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	304人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	レーザーカッター
使用学年及び人数	中学部12人・高等部22人
使用頻度	週1回3時間程度
使用状況	<p>中学部・高等部の木工班や高等部の手工芸班で、資材を規格どおりに切ったり、製品にロゴや表示を入れたりするために使用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>決まった大きさにカットしたり、製品に入れるロゴが、決まった場所に決まった大きさで入ったりするため、製品の質の向上につながっている。生徒は機械を扱った活動をとおしてどんなロゴをどこに入れるのか考えたり、プリンターが動く様子をよく見たりして、夢中になって作業学習に取り組む姿が見られている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>引き続き、木材や革を扱った作業学習を中心に活用を図っていく。扱い方を周知し、指導できる教員を増やしていき、他の素材を扱う班でも活用を考えていく。</p>
その他希望や所感など	

## 2. 活用の様子

### 【中学部 作業学習「木工班」】



12月の販売会に向けて製品を作っている。生徒たちから、楽しく遊べるおもちゃを買ってもらい喜んでほしいとの思いから、「モルック」のセットを販売する。数字やロゴをつけることで、表示が見やすく出来栄も満足するものになっており、生徒たちの作る意欲につながっている。

### 【高等部作業学習(木工班・手工芸班)】



製品づくりの際、革や木材を規格通りに切ったり、学校名やオリジナルのイラストを均一に表記したりするために使用させていただいている。パソコンで指示することで規格通りに仕上がるため、失敗が少なく、製品の質の向上にもつながっている。